

「燕ブレード」に期待と応援の声

－ 国内のフィギュアスケートインストラクターが集まる総会でPR －

燕市フィギュアスケートブレード開発研究会は、6月2日（日）、3日（月）に新横浜プリンスホテルで開催された「日本フィギュアスケーティングインストラクター協会」の総会で、約200名の国内のフィギュアスケートインストラクターの皆さんに対し、燕ブレード試作品のPRを行いました。皆さんからは数多くの質問が寄せられ、国産ブレードに対する関心の高さがうかがえました。

●寄せられた主な反応：

- ・海外から直接取り寄せなくてはならない製品もあり、国産品があるとありがたい。
- ・試作品を使用している。市販品より「よく滑る」印象。エッジも長持ちするようだ。
- ・実際に靴に取り付けてみた。試作品は、ねじ穴の精度が市販品より高いようだ。
- ・ブレードと支柱部分が溶接で接合してあるので、強度アップが期待できる。
- ・左右対称であることにより、どちらの足にもつけられるのはありがたい。
- ・市販品より安価であれば、すぐにでも購入して試してみたい。
- ・燕ブレードを履いた選手が良い成績を収めれば、世界からも注目されるだろう。
- ・カーブやトウ、表面の色など、好みに合わせカスタムメイドで作ってほしい。
- ・アイスダンスやシンクロナイズド競技用のブレードも作ってほしい。 など

●今後の取り組み：

引き続き積極的に情報発信を行いながら、まずは、年内までの標準モデルの製品化と品質や安全性の保証を目指します。また一般販売に向け、価格設定や受発注体制の確立にも取り組んでいきます。



総会でのプレゼンテーション



PRブース



ブースに集まるインストラクター

本件についてのお問い合わせ先
産業振興部 商工振興課：山崎、佐藤
電話：0256-77-8232（直通）